

## 第 18 回 YGN 若手勉強会

# 2030 年温室効果ガス 46%削減目標の達成は可能か？

主催： 日本原子力学会 若手連絡会

来る 6 月 14 日、日本原子力学会 若手連絡会（YGN）は、「2030 年温室効果ガス 46%削減目標の達成は可能か？」と題する勉強会を開催致します。

2021 年 4 月 22 日、日本政府は、2030 年に温室効果ガスの排出量を 2013 年比 46%削減することを目指すことを決定しました。昨年 10 月の「2050 年カーボンニュートラル」宣言を踏まえて、これまでの 2030 年目標（2013 年比 26%削減）から大幅に引き上げられました。野心的な目標であり、菅総理も「決して容易なものではない」ことを目標決定の際に表明しています。

本勉強会では、講師として、2021 年 5 月に 2030 年目標の実現可能性の検証結果を公表した間瀬貴之氏（電力中央研究所主任研究員）をお招きします。新たな 2030 年目標はどの程度野心的なのか、目標の達成に向けて何が必要なのか等、若手専門家と議論を致します。お気軽にご参加ください。

－ 記 －

- 【日時】** 2021 年 6 月 14 日（月） 16:30～18:00（16 時よりアクセス可能）  
**【場所】** オンライン（ZOOM： お申込み後にアクセス情報をお送りいたします。）  
**【講師】** 間瀬貴之氏

（一般財団法人 電力中央研究所 社会経済研究所 主任研究員）  
専門はマクロ経済、産業連関分析。2021 年 5 月、これまでの研究成果も踏まえつつ、政府審議会で示された長期エネルギー需給見通しの見直し項目を基に、2030 年目標の実現可能性の検証結果を公表。

\*プロフィール\*

<https://criepi.denken.or.jp/jp/serc/serc/profile/t-mase.html>

- （関連資料） 間瀬貴之、朝野賢司、永井雄宇、2030 年温室効果ガス 46%削減目標の達成は可能か？、電力中央研究所社会経済研究所ディスカッションペーパー、SERC21001

<https://criepi.denken.or.jp/jp/serc/discussion/21001.html>

間瀬貴之、朝野賢司、永井雄宇、星野優子、2030 年度までの日本経済・産業・エネルギー需給構造の検討、電力中央研究所研究資料、Y20506

<https://criepi.denken.or.jp/jp/serc/source/Y20506.html>

【参加費】 無料

【対象】 原則として、原子力・放射線分野に従事する 39 歳以下の若手・学生が対象です。原子力学会の会員である必要はございません。

【プログラム】 16:30 ～ 16:40 開会・趣旨説明  
16:40 ～ 17:10 講演  
「2030 年温室効果ガス 46%削減目標の達成は可能か？」  
17:10 ～ 17:55 質疑  
17:55 ～ 18:00 閉会

【申込】 6月11日(金) 13時までに以下のサイトよりお申込ください。

お申込用フォームサイト：<https://forms.office.com/r/pZAQqyNHmY>

\*アクセス不可の方は下記問い合わせ先までご連絡ください。

【問い合わせ先】 若手連絡会事務局

中森 文博（電力中央研究所）：[nakamori@criepi.denken.or.jp](mailto:nakamori@criepi.denken.or.jp)

【備考】 ◆YGN 若手勉強会では「チャタム・ハウス・ルール」\*を適用し、参加者相互の信頼関係に基づく率直な議論を行います。本趣旨にご賛同の上、ご参加ください。

\*チャタム・ハウス・ルール：「会議で得た情報を参加者は自由に使用してもよいが、発言者及びその他の参加者の身元・所属団体は明かしてはならない」というルール。国際会議等の場で率直な議論を促すために多く用いられている。

◆本イベントへご参加いただいた皆様に、YGN 活動（勉強会や見学会のご案内など）のメールマガジンを配信させていただきます。

### <若手連絡会>

日本原子力学会 若手連絡会は、原子力に携わる若手世代間の連携を強めることで、若手が本来持つ活力を引き出し、その専門性や能力を高める活動を行っています。この活動を通して、原子力全体の活性化を図り、原子力技術の発展、原子力に関する諸問題の解決、そのために必要となる新たな若手の育成に貢献することを目的としています。原子力の専門性を活かし、国・機関を超えた若手の連携によって社会へ貢献すべく、ネットワークの拡充強化を図っていきます。

ホームページ： <http://www.aesj-ygn.org/>

### <YGN 若手勉強会>

日常業務に捉われない自己研鑽、分野や所属を超えた繋がりのお機会創出のため、2016年10月より継続的に開催しております。

第1回	「もんじゅを見つめ直す」	2016年	10月
第2回	「次世代炉開発に向けて考慮すべきことは何か？」	2017年	2月
第3回	「原子力の将来とイノベーション」	2017年	4月
第4回	「次世代小型モジュラー炉:シンプルで安全、そして経済的な選択肢」	2017年	10月
第5回	「安全神話とは何か。私たちは本当に安全神話に囚われていたのか。」	2017年	11月
第6回	「原子力安全と自治体行政：福井県の経験から」	2018年	2月
第7回	「原子力プラント建設の技術継承」	2018年	5月
第8回	「著者と語る『日本の原子力外交－資源小国 70年の苦闘』」	2018年	7月
第9回	「国際協力・海外進出の現状と今後」	2018年	12月
第10回	「放射線問題と国連 ～2つの『国連』報告を読み解く～」	2019年	1月
第11回	「原子力プラント建設の技術継承②」	2019年	5月
第12回	「原子力防災に携わる。ー現場から研究室、そして現場へー」	2019年	9月
第13回	「脱炭素化、イノベーション、原子力の役割」	2019年	11月
第14回	「宇宙探査における原子力利用」	2020年	9月
第15回	「高速炉サイクル若手座談会～高速炉サイクルは何処へ～」	2020年	12月
第16回	「気候変動問題入門：なぜ『カーボンニュートラル』を目指すのか？」	2021年	1月
第17回	「核融合の早期実現という破壊的イノベーション」	2021年	6月

以上